健康測定評価論

Health Measurement and Assessment

増田 匡裕 教授

宮井 信行 教授

1 年次後期・選択

2 単位・30 時間

【概要・目標】

健康づくりや疾病予防の活動を効果的に実践するためには、対象集団の健康状態の現状を把握し、健康課題の解決につながる有効な手段を導くことが重要である。本講では、人の健康を客観的に測定・評価するための方法論や、その過程において不可欠となる研究デザインおよび統計解析手法の理解を深め、研究に的確に応用する力を養うことを目的とする。

【授業内容・スケジュール】

1) 対応のある 2 群の標本の比較	増田
2) 対応のない 2 群の標本の比較	増田
3) 1 元配置分散分析 (Between)	増田
4) 1 元配置分散分析 (Within)	増田
5) 2 元配置分散分析を理解するために	増田
6) 2 元配置分散分析	増田
7) 分散分析を理解することの意義	増田
8) 集団における健康度の把握	宮井
9) 疾病頻度の差の分析 (有病割合の比較)	宮井
10) 疾病頻度の差の分析 (アウトカム指標の比較)	宮井
11) 疾病と曝露要因の関連の分析	宮井
12) 危険因子の探索と影響度の分析 (横断研究)	宮井
13) 危険因子の探索と影響度の分析 (縦断研究)	宮井
14) 複数要因の交互作用の分析	宮井
15) まとめ	宮井

【評価】

宮井：出席状況（10%）、課題発表（30%）、提出物（60%）により総合的に評価する

※評価責任者 宮井教授

【テキスト】

資料を配付する（宮井担当回）

橋本貴光、荘島宏二郎「実験心理学のための統計学」誠信書房 2016（増田担当回）

【推薦参考図書】

特になし

【その他】「保健看護情報統計学」未履修の状態でのこの科目を履修しなければならない特別な事情がある場合は、事前に担当教員及び指導教員と話し合いをすることが望ましい。

連絡先：masuda@wakayama-med.ac.jp（増田）

miyain@wakayama-med.ac.jp（宮井）